



Title	沖縄関係18 沖縄返還交渉 機密漏洩事件（国会対策等）（4.「機密保持についての意見」（吉野アメリカ局長） 外務省外交史料館レファレンス番号：H221815）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.4 公開日：平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号：2010-6434 CD・DVD番号：H22-012
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43730
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

4.

「機密保持」の意見

(吉野了介局長)

3/3 次方へ提出。
註の字配布。

秘
無期限

機密保持問題についての意見

昭和47年3月30日

森 事務次官 殿

吉野アメリカ局長

1. 来電の配布部数を大巾にへらすこと。
往電の回覧先もできるだけへらすこと。
(連絡をよくすることと機密保持とが両立しない面もあるが、二者択一ということになれば後者をとるほかない。)
2. 新聞記者が音もなく目の前に立つという状況はなんとか改善できないものか(課長、事務官の場合)。
3. コピーの管理責任体制の確立。
(各課(さしあたり主要関係課からはじめる)にシュレッダーを備えつけること。)
4. 庶務要員(付きを含む)の配置転換を随時行なうこと。
5. 少なくとも局長室については防音を確保すること。(ベニヤ板体制の解消)

(注) 上記3. に関し、シュレッダーが備えつけられるまでの間、現行の文書焼却方法を再検討して厳重な焼却体制を確保する。

写送付先

官房長

官総参事官(官房書記官)

人事課長兼文書課長

会計課長

秘

機密保持問題についての意見

森事務官殿

吉野アメリカ局長
昭和47年3月30日

1. 来電の既読部数も大巾にへらすこと。
往電の回読迄もできるだけへらすこと。
(連絡をよくすることと機密保持とが両立しない面もあるが、二者択一ということになれば後者をとるほかない。)
2. 新聞記者が昔もなく目の前に立つという状況は何とか改善できないものか。(課長、庶務官の場合)
3. コピーの管理責任体制の確立。
(~~重要~~課人にシュレッダーを備えつけること。
各 (せしめたりも要領係課から始める))
4. 庶務要員(付きを含む)の既読転換を随時行なうこと。
5. 少なくとも局長室については防音を確保すること。(バッチ板体制の解消)

注. 上記3.に附し、シュレッダーが備えつけられる迄の間、現行の文書焼却方法を再検討して厳重な焼却体制を確保する。

宇送付先

官邸長

官邸秘書(官邸書記官)

~~官邸書記官~~

入事課長兼文書課長

会計課長